

20160731 京都府吹奏楽コンクール講評

課題曲Ⅱ スペインの市場で

自由曲 マードックからの最後の手紙

審査員①

評価 A

課) 難しい所も良く出来、ハバネラも面白く聴けました。少しのミスは惜しい。

自) よく考えた構成で良い演奏です。我慢もでき、音をぶつけない好演です。

審査員②

評価 B

課) よく音が出ています。前半、音型が流れてしまっています。音の処理(余韻)必要。ハバネラ、Euph 良い音しています。再現部、各々良い音しています。やはり音型が流れてしまい、全体的に一本調子に聴こえます。アンサンブルはとてもコントロールされていると思います。

自) 良い雰囲気のアダルトです。Bass セクションもう少し欲しい。前半、よく練習してあります。中間部、Fl 良いです。中間部、金管流れてしまいます。音のかたち必要。こちら Bass セクション音量必要。後半フレーズが短くなってしまいます。エンディング再現部、金管流れてしまいます。各楽器ともとても良い音色をもったバンドです。

審査員③

評価 B

課) 団内でとてもよくアンサンブルされており、見た目の人数以上の豊かなサウンドをしてました。場面に合った息の量とスピード、音色の変化をもっとメリハリをつけて大きさにしてください。更に細部まで唄い込めると良いですね。

自) ソリスト用の音色、もっと踏み込んだ表現を。細かな動き、メロディが隠れてしまう場面がありました。「やわらかで大きな音」が一回り大きくなると良いかと思います。ピークが早めに出てきてしまいました。

審査員④

評価 B

課) いろいろな要素の含まれる曲だけに表現力が求められる曲です。楽器間のメロディーの移行をスムーズにしてください。タンゴとフラメンコの要素をもう少し前面に出した方がいいと思います。フラメンコのカスタネットとタンブリンは大切です。もう少し大きくてもいいと思います。

自) ストーリー性のある曲で、この曲もいろいろな表現力が求められます。各 Solo はよくできていると思います。各部分をとると良く出来ていると思いますが、各場面をつなぐ部分を大切にしてください。ゆっくりの部分でのインザツツの不揃いが気になります。

審査員⑤

評価 B

課) 29 小節目からの Cl サウンドしっかりと。D~のアンサンブル、ピッチと表現大切に。J~のメロディーのピッチ不揃い気になります。エンディング部の縦の線揃えましょう。

自) Allegro からの縦の線、統一を。次の Allegro から Perc のバランス注意を。Andante 4 拍子、各 Solo のピッチと表現しっかりと。エンディング部、木金打のバランス感大切に。

審査員⑥

評価 B

課) 陽気さやハバネラも雰囲気をもってよかったです。前半部分のメロディーは推進力を持ちすぎるよりは、もう少しその音楽の持つ幅が出せた方がより豊かな演奏になったのではないかと思います。音楽的には表情があり変化に富み、とてもよかったと思います。

自) メリハリの利いた演奏で良かったと思います。音楽の変わり目をもっと上手く変化できるとより効果が増すと思います。静かなメロディーや歌うメロディーなどは息の長いフレーズを厳かに吹くようにすると更にその音楽の高まりを表現しやすくなります。

審査員⑦

評価 B

課) 旋律中心にまとめていました。この曲で一番大切に重要なハーモニーを、よくつかんでいる所と少し不明瞭な所が混在していて惜しいです。ンタンタンのような短い音のハーモニーを特に。K以降速くしてもいいけどリズムが転んだり、ハーモニーが見えなくなるのは避けましょう。

自) 速い部分の積極的な表現、構成感あふれる進行が良かったです。ハーモニーや Slow 部分の安定が高まれば説得力がUP。ですがとても表現力自発力の高いバンドですね！